

専門教育科目	演習科目	受講料	6,000円		
科目名:	情報セキュリティ		科目コード	HH12	
科目主査:	江崎 和夫	担当講師:	江崎 和夫	単位	2
				配当年次	1
授業の目的と概要		グループワーク:	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク:	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
<p>2001年9月に起きたアメリカ同時多発テロ事件を機に、アメリカの、そして世界の情報システムセキュリティ対策（サイバーセキュリティ対策）が、大きく変貌しました。約15年の間に情報セキュリティや個人情報保護の考え方、仕組みや施策が大きく進展しています。日本においても、標的型攻撃、ランサムウェアなど巧妙に仕組まれたセキュリティインシデントがほぼ毎日おこっています。本科目は、演習を通じて情報セキュリティの「今」を理解するとともに、2015年のマイナンバー制度、2016年の改正個人情報保護法、GDPR（General Data Protection Regulation：EU一般データ保護規則）など、次々に施行された法制度についても考え、実践する準備を整えます。</p>					
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:			
履修の前提となる知識 その他特記事項	【(1)情報セキュリティの3要素 (2)標的型攻撃 (3)ランサムウェア (4)多要素認証】について事前に整理し自分の考えを表現できるように準備してください。授業は日頃、スマホ、PCを活用していることを想定して進めます。				
テキスト	『新入社員と学ぶオフィスの情報セキュリティ入門』, 沢渡 あまね・山田 達司, C&R研究所, 2016年 ※テキストはスクーリング受講許可者に送付します。				
この科目の到達目標	<p>①情報セキュリティの目的について、図解して説明でき、情報セキュリティリスク・コントロールを実施して、情報セキュリティを味方につけることができる。</p> <p>②個人情報保護について、基本を理解して、自身や家族のプライバシー、また企業や組織が管理するプライバシーを守ることができる。</p>				
成績評価の方法	授業への集中度合い、個人ワーク参画度合いを評価対象とします。個人ワーク参画度合いを評価対象とします。個人ワークのテーマは、時の話題、テーマなどを織り込みますから、話題、テーマに応じて、取組時間などが変化します。休み時間後の遅刻は、減点の対象とします。				
事後学習	演習を通じて得た知識を、職場や家庭で活かす機会をなるべく多く作る工夫をして実践しましょう。身の回りのスマートフォン、タブレット、PC、カード類などの管理を情報セキュリティや個人情報保護の観点から見直し、常に新しい情報に気を配ることをよい習慣としましょう。				
事後学習の参考文献	『情報セキュリティの法律〔改訂版〕』岡村 久道, 商事法務, 2011年 『インターネット判例要約集』大家 重夫, 青山社, 2015年 『IT全史 情報技術の250年を読む』中野 明, 詳伝社, 2017年				
スクーリング受講時に用意するもの					
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 受講票（iNetCampusのお知らせ機能を用いて通知されます）画面 <input checked="" type="checkbox"/> 学生証					